

課題名：水稻、麦類の二毛作栽培における稲わら、麦わらの有効活用技術の確立
(令6～8)

内容：水稻、麦類の二毛作栽培では、後作の作業を効率的に行うため、稲わら、麦わらが野焼きされる場合があります。県ではPM2.5の発生源の1つである野焼きを減少させるため、稲わら等の焼却処理からすき込みなど有効利用への転換を推奨しています。また、水田作においては、メタン発生などの環境問題があり、環境負荷低減のためには、中干し期間の延長が有効であることが明らかにされています。そこで、水稻の収量、品質に影響を及ぼさない中干し期間の延長方法について検討を行っています。

また輸入飼料の高騰や主食用米の需要量が減少していることから、水田の有効活用と農家の経営安定につながる県産飼料の生産拡大が求められています。そこで耕畜連携によるわらの有効活用体系の検討を行っています。



[作物・経営研究室HPへ](#)
[農業研究所HPへ](#)